

写真④／莊島校区のお祭り「よかつ祭」での寸劇。支え合いの意識啓発を行っています。

写真⑤／支え合い推進会議で生まれたサロン。

地域性が異なっているため、校区により支え合いの形も多種多様です。



### ※「社会資源」とは？

人の要求や困っている人の問題解決をするときに活用できる地域のもの。施設や団体、制度、資金、物資、個人や集まり、習慣などの総称。

地域の  
たからもの



いろいろな  
支え合いの  
カタチ

支え合い推進会議では、いろいろな話し合いが行われています。

大橋校区では、地域にどんな活動や社会資源(※)があるのか、自治会ごとに詳しく調べました。すると、数人で茶話会をしたり、近所の人々が定期的に集まっていることが分かりました。実際にどのような集まりなのか、場所はどこなのか、どのような人が集まっているのか、などが話し合われました。その結果、その集まりはサロンとなり、一部の人は

知らなかった集まりが、より多くの人に知ってもらえるようになりました。(写真⑤)

また、莊島校区(写真④)では、まず、住民への意識啓発が必要と考え、校区のお祭り「よかつ祭」で支え合い活動の寸劇を行いました。校区の各団体が一致団結して取り組み、横のつながりも、より強いものになりました。

このように、各校区の特色を活かした支え合いの仕組みづくりが進んでいます。

## 地域で 支え

### 私たちのまちへ 「共に生きるまち」へ

昨年7月、本市でも豪雨災害が発生しました。近年、自然災害も多くなり、いつ災害が起こるか分からない状況です。

このような時代だからこそ、いま住民同士の支え合いが改めて求められているのではないのでしょうか。

年齢、性別、障害や国籍の違いに関わらず、地域に暮らす誰もが支え合い「共に生きるまち」へ。このようなまちづくりを支え合い推進会議では目指しています。



写真⑥／知り合うことは、支え合える関係になることにつながります。笑い合っつながれるまちを目指しています。

写真⑦／みんなで使う道路はみんなできれいに。そんなゴミ拾いも支え合いのひとつです。

写真⑧／昨年の7月に起こった豪雨災害では、全国から支え合いにボランティアが駆けつけてくれました。支え合いにもいろいろな形があります。自分ができる支え合いを考えてみませんか。

